

株式分割および株主優待制度のお知らせ

投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的に、2024年10月1日に株主さまの所有普通株式1株につき5株の割合をもって分割いたしました。

また、株主優待制度につきましては、株式分割前の基準と実質的な変更はございませんが、基準の調整を実施いたしますので、以下の通りご案内いたします。

現行

保有株数	株主優待品
100株以上200株未満	おこめ券(1kg)×1枚
200株以上1,000株未満	おこめ券(1kg)×2枚
1,000株以上	北海道特産・名産品 (3,000円相当)

実質的な内容の変更なし

変更後(2025年3月31日の株主名簿に記録された株主さま)

保有株数	株主優待品
500株以上1,000株未満	おこめ券(1kg)×1枚
1,000株以上5,000株未満	おこめ券(1kg)×2枚
5,000株以上	北海道特産・名産品 (3,000円相当)



株式分割について



株主優待制度について

液化天然ガス(LNG)売買契約の締結



(右より、サントス社 ケヴィン ギャラガー CEO、
当社 代表取締役社長 川村 智郷)

調達先の多様化による供給安定性の更なる向上

2024年5月に、オーストラリアのエネルギー企業Santos Ltd社の子会社との間で、石狩LNG基地向け液化天然ガス(LNG)売買契約を締結いたしました。2027年度～2036年度の期間で、合計約350万トンの数量をSantos Ltd社が権益を有するオーストラリア等の各プロジェクトより調達いたします。



詳しくはこちら

会員制Webサイト「TagTag」リニューアル



会員数
約29万件

お客さまとの双方向コミュニケーションの深化

会員制Webサイト「TagTag」をリニューアルいたしました。お客さまの省エネ行動に応じポイントを獲得できる制度への拡充や、TagTagサイト・省エネレポートの画面を見やすく改善しています。

あわせて、環境負荷軽減に向けたペーパーレス化推進の観点から、2024年8月分より検針・請求等のお知らせ方法を変更※しています。

※一部帳票を有料化



Tagtagリニューアル
について



請求のお知らせ方法
について



都市対抗野球大会 北海道勢通算100勝目を達成!

2024年7月19日(金)から東京ドームで開催された第95回都市対抗野球大会の本大会に、北海道ガス硬式野球部は4年連続4回目の出場を果たしました。1回戦では対戦した優勝候補のNTT東日本(東京)に7対3で勝利し、北海道勢通算100勝という悲願を達成するとともに、応援団コンクールでは敢闘賞を初受賞いたしました。



硬式野球部
ホームページ



公式Instagram



ホームページアドレス <https://www.hokkaido-gas.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



株主の皆さまへ

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

北海道ガス株式会社

証券コード: 9534

株主の皆さまには、日頃より当社グループの事業運営に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年度は北ガスグループ経営計画「Challenge2030」の3年目であり、2030年度までの期間を3年毎で区切ったうちの「フェーズ1」の最終年度にあたる重要な1年となります。これまで、業務プロセスを抜本的に見直す改革として、

- ①情報プラットフォーム「Xzilla(くじら)」を最大限に活用した事業構造改革と、
- ②会員制Webサイト「TagTag」などお客さまとのコミュニケーションのDX化に取り組んでまいりました。

引き続き、「フェーズ1」の3年間の総仕上げとして、「総合エネルギーサービス事業の進化による分散型社会の形成」「カーボンニュートラルへの挑戦」「デジタル技術の活用による事業構造変革」の3つの主要施策にスピードを上げて取り組み、来年度からの「フェーズ2」に繋げてまいります。「安全・安心・安定供給」を第一に、地域とともに成長する企業グループを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 川村 智郷

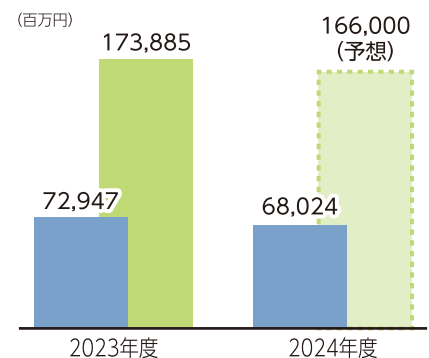
連結決算ハイライト

■第2四半期 ■通期

●売上高

68,024 百万円

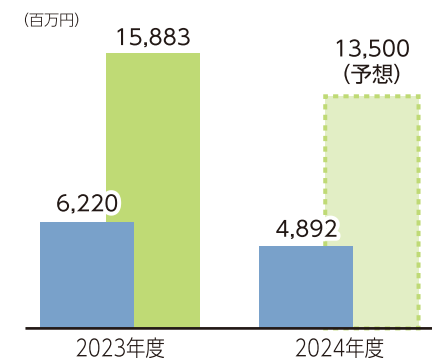
前年同期比 6.7%減



●経常利益

4,892 百万円

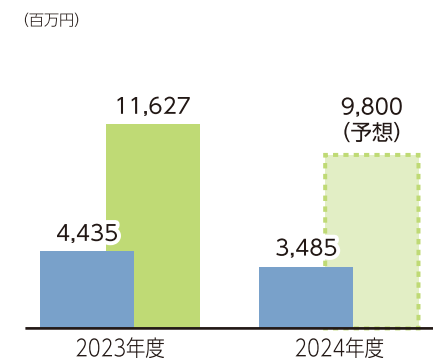
前年同期比 21.4%減



●親会社株主に帰属する純利益

3,485 百万円

前年同期比 21.4%減



上半期業績のポイント

連結決算は3期ぶりの減収、4期ぶりの減益となりました。

【売上高】 原料費調整制度による販売単価の低下等により、前年同期に比べ6.7%の減収となりました。

【経常利益】 会員制Webサイト「TagTag」の機能拡充によるお客さまの利便性向上や、システム関連費用といった持続的な成長に向けた戦略投資の増加等により、前年同期に比べ21.4%の減益となりました。

上半期決算詳細、トピックス等

<https://www.hokkaido-gas.co.jp/ir/info/>



中間配当について

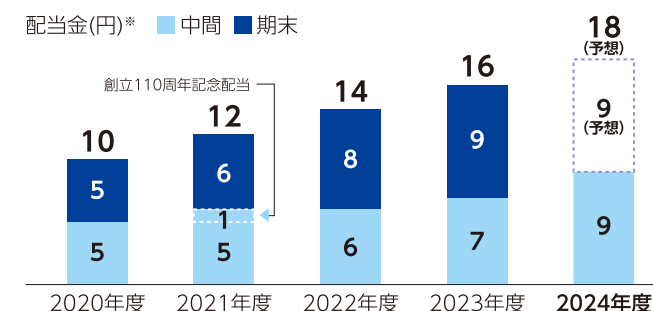
中間配当につきましては、10月31日開催の取締役会において、9月30日を基準日として、1株につき45円とすることを決定しました。

また、期末配当予想は9円としております(なお、10月1日を効力発生日として1株につき5株の株式分割を実施しており、これを考慮しない場合は1株につき45円となります)。



株主還元について

配当金(円)※ ■中間 ■期末



※上記は1株あたりの配当額について2024年10月1日に実施の株式分割を調整した数値で記載しております。

安全と安心を守り続けるために、日頃から「予防対策」を進めるとともに、災害が発生した場合の「緊急対策」と「復旧対策」にも取り組んでいます。

安心・安全の確保に向けた 日頃の取り組み

予防対策

ガスの製造・供給設備の
耐震性・安全性の向上

老朽ガス管の入替、耐震化

大地震が発生した際でもガス供給を継続するために、腐食に強く、耐震性に優れたガス管への入替を計画的に進めており、96%の耐震化を達成しています(2023年度末)。



ポリエチレン被覆溶接鋼管



ポリエチレン管への入替工事

安全確保のための日常的な取り組み

高精度GNSS^(※)位置情報サービスを活用したガス導管検査管理システムを開発・導入し、地中に埋設されているガス導管の漏えい検査や、お客さまのガス設備の安全点検を定期的実施しています。また、社員に対する保安教育を徹底するとともに、緊急時の対応力を強化するため、防災訓練を毎年実施しています。



GNSSを利用したガス導管検査管理システム

(※) 全地球衛星測位システム(Global Navigation Satellite System)の略。QZSS(日本)、GPS(アメリカ)などの人工衛星を用いて測位を行うシステムの総称



緊急保安社会合同訓練

ガス製造設備の災害対策

ガス製造工場の主要設備は耐震・防火対策のほか、沿岸地域の工場には津波対策を施しています。全域停電が発生した場合でも、非常用発電機の稼働により、ガス製造を継続します。



止水板



波力低減壁

万が一災害が発生した場合の 緊急保安対策

緊急対策

情報収集と二次災害防止、
ガス供給の継続

供給防災センターの整備

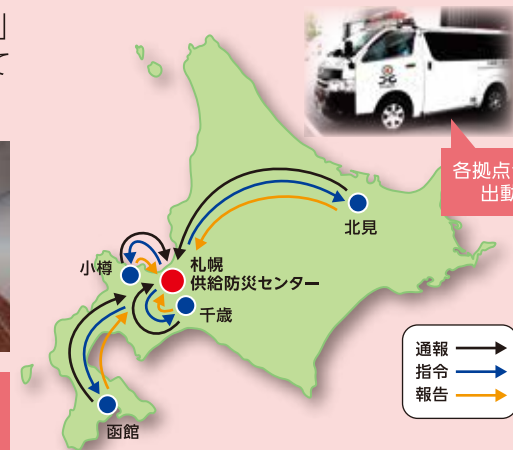
供給エリア全5地区の保安・供給・防災機能を集約した「供給防災センター」を設置し、供給エリアのガス供給状況をリアルタイムで監視、一元管理しています。また、緊急時には遠隔操作で速やかにガス供給を停止します。



供給防災センター



ビル建物は高い耐震性能を有しており、さらに供給防災センターには免震床も整備。業務を中断することなく緊急対応を継続します。



全エリア・全時間帯の保安・供給・防災を一元管理

ガス導管網のブロック化

ガス導管網をブロックごとに細分化することで、ある地域に被害が集中した場合は、対象となる地域のみ必要に応じてガスの供給を遠隔で停止し、二次災害を防止します。



札幌地区ブロック化状況

ガス供給が停止した地域への 供給再開に向けて

復旧対策

速やかなガス供給の再開

早期復旧に向けて

ガス供給が停止した地域は、ガス導管の漏えいを調査し、被害状況の把握、被害箇所に対して復旧計画を立案します。復旧作業を行い、安全が確認できたお客さまからガス供給を再開します。

1 被害状況の調査・ 復旧計画の立案



2 ガス導管の 調査・修理



3 屋内配管の調査・修理・ ガス供給の再開



早期復旧のための連携

災害時、ガスインフラの復旧作業に必要な物資を迅速に提供いただいたり、復旧対応にあたる要員や車両・物資等の緊急輸送、宿泊場所やバス・車両といった移動手段の確保など、各企業さまと連携協定を締結し災害対応力を強化しています。さらに、被害が大きい場合は、(一社)日本ガス協会に救援要請を行い、全国のガス事業者の協力により迅速な復旧対応ができる体制を整備しています。



天然ガスの
安定供給



安心・安全への
取り組み